

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

研究会基本情報

1. 日時：2016年3月12日（土）13:30-17:10
2. 場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 マルチメディアセミナー室 (306)
3. 内容
 - (1) 李美姫（東京大学大学院生） 「韓国語釜山方言の外来語アクセントについて」
 - (2) 李文淑（AA 研共同研究員，東京理科大学） 「全羅道方言のアクセントとその変化様相」
 - (3) 福井玲（AA 研共同研究員，東京大学） 「小倉進平の朝鮮語音声観察について―慶尚道アクセントと母音体系を中心に―」

韓国語釜山方言の外来語アクセントについて

李美姫

(東京大学人文社会系研究科 韓国朝鮮文化研究専攻博士課程)

本発表は、韓国語釜山方言の外来語アクセントを取り上げ、そのアクセントパターンと音韻的要素との関係について考察したものである。そのため 5 人の釜山方言話者を対象に 1 音節語から 4 音節語までの約 3000 語の外来語を筆者の聞き取り方式で調査し、分析を行った。

その結果、1 音節語では H(L)、H(H)、L(H)のアクセントが現れたが、そのほとんどは H(L)であった。また H(L)の場合は話者によって長母音の下降調で発音される場合があった。2 音節語では HL、HH、LH(L)、LH(H)の 4 つの型が現れた。先行研究の指摘通り、音節量によってほぼ予測可能であった。重重構造は HH、重軽構造は HL、軽重構造は LH(L)、軽軽構造は HL が多く占める傾向があった。また二重子音[-λλ-]を含む音節の前の音節は重音節として機能しないものが多くあった。3 音節語では LHL、LHH、HHL、HLL の 4 つの型が現れた。3 音節語も音節量により、現れる型に傾きがあった。軽軽軽構造は LHL、軽軽重構造は LHH、軽重軽構造は LHL、軽重重構造は LHH が多く現れる傾向があった。HLL 型の 55%(34/62)は第 2 音節と第 3 音節に挿入母音を持つものであった。4 音節語では LHLL、LHHL、LHHH、HHHL、HHLL、HLLL の 6 つの型が現れた。LHHL、LHHH、HHLL は 5 人とも共通して現れたが、LHLL、HHHL、HLLL は話者によって現れないものもあり、語彙数も多くなかった。4 音節語は 2 音節語、3 音節語に比べ、音節量にあまり影響されず、全体的に LHHL 型に集中しているように思われた。

全羅道方言のアクセントと変化様相

李文淑

(AA 研共同研究員, 東京理科大学)

本研究は、全羅道方言（全州方言と光州方言）のアクセント状態を把握し、これらの方言が標準語となるソウル方言とどう関係するかを考察するものである。さらに、この方言の内部で起こっているアクセント変化様相を示すことで、これからの変化方向を予測可能にすることが目的である。

全州方言とソウル方言に見られる音調パターンは **HH** と **LH** の 2 種類があるが、ソウル方言は頭子音の条件だけで両パターンが決まるのに対して、全州方言の場合は、頭子音の種類が大きく関与するものの、語本来のアクセントが保持される語や語頭の長母音によって **H:H** で決まる語も少なくない。

また、光州方言は **HH** と **LH** の他に **HL** が現れる。この方言も頭子音の条件によってアクセントが決まる傾向はあるが、語頭の長母音と本来のアクセントが現れる語が多い点は全州方言と共通する。

これらの方言を比較すると、程度の差はあるが、頭子音の条件で音調パターンが決まる傾向が強く、それはソウル方言 > 全州方言 > 光州方言の順になる。また、語や音韻句が長くなると、音調型の対立がなくなり、ソウル方言のような体系に移行していることがわかった。

小倉進平の朝鮮語音声観察について—慶尚道アクセントと母音体系を中心に—

福井玲

(AA 研共同研究員, 東京大学)

本発表は、小倉進平が『朝鮮語方言の研究』(1944) など多くの論著において行った方言調査の報告について、そこで用いられている音声表記や彼が行った音声学の観察について検討を行った。そこには今日では観察不可能な貴重な成果が見られるのと同時に、理解しにくい部分も少なからず存在する。本稿ではその中から、アクセント、長母音、済州島の母音、語頭の *ni, ri* などの子音の発音に関する問題点を論じた。アクセントに関してはこれまで未公開だった2種類の彼による手書きの原稿を用いて、そこでは著作として公表されているものよりも精細に慶尚道方言のアクセントを記録していることを明らかにした。